

13年ぶりにデイトン市から 高校生が来磯しました



12日間のホームステイ 姉妹都市交流

姉妹都市協会(石塚洋会長)では、7月22日から8月2日までの12日間、米国姉妹都市デイトン市の高校生5名と姉妹都市協会大磯担当会長ご夫妻、引率の高校教諭ご夫妻をお迎えしました。

高校生たちは町内のホストファミリー宅に滞在して、町役場への表敬訪問の他、着付けや華道、書道などの日本文化の体験や、町民納涼おどり大会、なぎさの祭典、馬場夏祭りなどに参加して町民との交流を深め、帰国されました。

デイトン市との姉妹都市交流

アメリカ合衆国オハイオ州デイトン市とは、当町唯一の誘致企業(外資系)の本社がデイトン市にあることがきっかけとなり、昭和43年、当時のデイベ・ホル市長から提携の呼びかけがあり、昭和43年9月に姉妹都市提携の盟約を結びました。

そして、昭和53年町民の自主的な運営による大磯町姉妹都市協会が設立され、昭和54年第1回目の大磯町訪米使節団42名がデイトン市を公式訪問し、デイトン市民宅へのホームステイによって一気に両市町民の絆が強まりました。

当町とデイトン市は、現在も町内在住の高校生がホームステイをするなどの交流を行っています。

デイトン市はどんなところ？

デイトン市は人口141,527人(2010年国勢調査)の都市で、オハイオ州の中でも有数の工業都市として栄えており、近年では航空宇宙や先端技術の分野の研究が行われています。また、ライト兄弟の故郷としても有名です。

問 町姉妹都市協会

石塚宅 ☎(61)6997

